

令和3年度 学校評価結果報告書

桶川市立加納中学校
校長 相澤 仁志

目指す学校像 「一人一人が輝き 夢と誇りのもてる 爽やかな学校」

- (1) 明るい元気な挨拶を交わす和やかな学校
- (2) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校
- (3) 生き生きと学びがあふれる学校

学校運営協議会委員評価欄の記入については、[A B C D] のいずれかに○をつけていただきました。
〔 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない〕。

職	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価欄
				評価	評価の理由・課題	
1 組織・運営 (学校組織の活性化を推進する。)	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	B	【評価の理由】 ・情報共有については、職員室内においては校務支援の活用が有効であり職員会議資料も電子化されている。 【改善策】 タブレットに情報を集約し共有できるようさらに研究したい。	A 13% B 50% C 0% D 0% 無回答 38%
	2	各分掌・特別委員会活動の活性化	【校務分掌の各主任を中心に分掌内で課題を共有し、前年度の反省を生かした計画を立てて実践している。】	A	【評価の理由】 定期的に分掌会議を開くなど、主任を中心に各分掌内で協力して職務の遂行にあたっている。 【改善策】 分掌用のファイルに確実に資料をとじ込み、内容の把握および次年度への引継ぎに活用する。引き続き電子データでも資料を残す。	A 63% B 0% C 0% D 0% 無回答 38%
2 学習指導 (確かな学力を育成する。)	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに応じた手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	A	【評価の理由】 テスト前の補修や、日ごろの丁寧な指導など、学習指導を手厚く行っている。生徒の実態をふまえて授業改善を続けている。 【改善策】 一人ひとりの学習状況を把握し、学力向上の手立てを考え実行していく。県の学力向上プリントやコパトン問題集を積極的に活用していく。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	B	【評価の理由】 3分前着席などほぼ達成しているが、一部学習規律が守れない生徒への指導は粘り強く行う必要がある。 【改善策】 授業のルールを全教員で確認し、徹底させる。授業開きの時に、授業ルールをしっかりと生徒に示す。授業開始を落ち着いてできるよう、3分前着席の徹底を行う。	A 25% B 25% C 0% D 0% 無回答 50%

	5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	A	【評価の理由】 補習授業や補習プリント等を作成し、熱心に取り組んでいる。丁寧な指導や教材研究を通じて、基礎的・基本的な学習の定着に努めている。 【改善策】 小テストや復習の時間など、繰り返し学習する時間を意図的に設け、基礎基本の定着に努める。	A 50% B 0% C 0% D 0% 無回答 50%
	6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では適切に協調学習の場を設定し、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	B	【評価の理由】 コロナ対応で学習形態の工夫等は難しかった。学力や生徒の実態に合わせて学びあう活動を取り入れた。 【改善策】 経験から学ばせることが大事なので、話し合いを意図的に設けていく。また、授業の導入の工夫や興味関心を引く授業を行う。	A 13% B 38% C 0% D 0% 無回答 50%
3 生徒指導・教育相談（生徒指導・教育相談を充実させ、いじめ・不登校の防止に努める。）	7	自己指導能力（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を育成する指導の推進	【各種アンケート結果を利用して生徒の実態把握をし、面談等を通して解決策を考えるようにしている。】	A	【評価の理由】 学校生活アンケートや楽しさチェックアンケートを二者面談などにも生かすことができた。また、生徒指導委員会や教育相談部会などで、素早い対応を検討・実施することができている。 【改善策】 今後もアンケート等を活用しながら、適宜二者面談等を実施し、自己存在感・共感的人間関係等を育成していく。	A 38% B 13% C 0% D 0% 無回答 50%
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、いじめ報告30%減を目指す。】	A	【評価の理由】 学校生活アンケートを実施し、それを基に共通理解と素早い対応が行われている。 【改善策】 アンケートの有無やいじめの報告件数にとらわれず、日頃から生徒の様子を注意深く観察し、異変があれば、まずは学年内で共有しきめ細かく素早い対応をしていく。	A 50% B 0% C 0% D 0% 無回答 50%
	9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細かな対応を行い、保護者との連携も行っている。】	A	【評価の理由】 「生徒指導ファイル」等で情報の共有ができており、多くの教員が生徒の変化を気にかかけ、声かけ等を行っている。 【改善策】 ほぼ達成しているが、引き続き粘り強く取り組んでいく。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動（「3日欠席→家庭訪問」「保護者との連携」）などの対応を行っている。】	A	【評価の理由】 「教育相談ファイル」で情報の共有ができ、関わりのある教員を中心に生徒の変化を気にかかけ、声かけ等を行っている。 【改善策】 個に応じた適切な対応を、それぞれの学年で続けていく。具体的な対応スキルを学ぶ研修を設け、全員で確認する。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%

4 健康教育（体力の向上と健康・安全教育を推進する。）	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	A	【評価の理由】 迅速な判断と保健室との連携により高い意識で行動でき、掲示や委員会活動が活発に行われた。 【改善策】 引き続きマスクの着用、換気、手洗い消毒等の感染症予防対策を継続して行っていく。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	A	【評価の理由】 定期的な安全点検の実施と、修理の迅速に実施など、事故の未然防止に努めている。 【改善策】 継続して安全点検を行う。また、点検漏れ箇所を担当で精査し、危険箇所の早期発見に努める。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めている。】	B	【評価の理由】 担当職員を中心に自転車集いや登下校指導などを行い、交通安全を守る意識がついていた。 【改善策】 定期テストの一日目に広域の下校指導を行う。交通安全指導を外部と連携して行っていく。	A 50% B 50% C 0% D 0% 無回答 0%
5 学習環境（よりよい教育環境づくりを推進する）	14	ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実	【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】	A	【評価の理由】 ユニバーサルデザインを意識して、教室前面の掲示は統一感をもって全学年実施できている。 【改善策】 教室前面の掲示は、スペースや期間を統一して最小限のものを掲示するようにする。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	B	【評価の理由】 清掃時間に、しっかりと清掃に取り組めていない生徒、場所がいくつか見られた。生徒全員が集中し、取り組めるようにしたい。 【改善策】 清掃場所の担当の教員が清掃への取組の確認を徹底する。	A 25% B 50% C 0% D 0% 無回答 25%
6 教職員の資質向上（教職員一人一人の資質や指導力を	16	計画的・組織的な職員研修の充実	【教職員が主体性を持って参加できる研修を設定し、計画的、組織的に指導力の向上に努めている。】	A	【評価の理由】 情報担当、研究主任の先生方を中心に ICT 研修、道徳に関する研修などを多く開催できた。 【改善策】 講師を招いて ICT や教育相談の研修を行い、充実を図る。	A 63% B 0% C 0% D 0% 無回答 38%
	17	職員相互の尊敬・信頼にもとづく積極的なコミュニケーション・アドバイスの実践	【職員相互の尊敬・信頼・協力により、生き甲斐と張りのある明るい職場をつくっている。】	A	【評価の理由】 明るく話しやすい雰囲気のある職場であり、仕事がしやすい環境で、何でも相談できる雰囲気がある。 【改善策】 授業力向上のために教科間で授業を見合う機会を設定するなど研修機会を増やす。	A 50% B 0% C 0% D 0% 無回答 50%

7 家庭・地域との連携 (地域の特徴を生かした特色ある教育活動を展開す)	18	小中一貫教育を念頭においた校種間(小・中・高)連携教育の強化・推進	【授業見学や出前授業、小中連絡会、小中研修会、各種学校行事への児童生徒の参加等、積極的に小学校との連携を図っている。】	B	【評価の理由】 小学校あいさつ運動は行えたが、新型コロナの影響もあり、小学校との連携を図ることはできなかった。 【改善策】 コロナ禍でなかなか他校との連携はできないが、近隣の小学校との連絡は密に行い、何かあった時にはすぐに動ける体制づくりを行っていく。	A 38% B 25% C 0% D 0% 無回答 38%
	19	積極的な情報発信と保護者・地域と連携した活動の充実	【各種たよりやHP、情報メール等で教育活動の様子を発信したり、積極的に学校を公開し、教職員が保護者や外部の人材と積極的に連携をとろうとしたりしている。】	A	【評価の理由】 積極的な情報発信(ホームページや学校だより)は出来ていた。 【改善策】 更新頻度を高めるために、各学年のホームページ担当と連携して組織としてホームページの更新に取り組んで行く。	A 63% B 0% C 0% D 0% 無回答 38%
	20	自主的・実践的態度を育む学級活動・生徒会活動の充実	【望ましい集団生活の中で、一人一人が自主性や創造性を伸ばそうとする態度を育成している。】	B	【評価の理由】 生徒が自分たちで考え、各委員会や執行部で今必要な活動の企画運営できるようになるともっと良い。 【改善策】 代表委員会の実施の意義を考え、各種委員会の直前の月曜日に実施する。	A 13% B 38% C 0% D 0% 無回答 50%
8 心の教育(全教育活動を通して、心豊かな生徒を育てる。)	21	道徳の時間を要とし、道徳的实践力を育む指導の充実	【全職員が内容項目を理解し、道徳的価値を念頭に置いた指導をし、生徒の変容を見取り、評価している。】	A	【評価の理由】 学校課題研究を中心に道徳教育を進めていた。道徳担当の先生を中心に学校全体で道徳を頑張ろうという雰囲気がある。 【改善策】 職員研修や部会で話し合う機会を学期に1~2回設け、みんなで動ける体制を作る。	A 38% B 13% C 0% D 0% 無回答 50%
	22	豊かな心と感性の育成を目指した体験活動の充実	【積極的に地域の人材を活用するなどして体験活動の充実を図っている。】	B	【評価の理由】 PTAと連携して除草活動は行ったが、コロナ禍のため体験活動等は行っていない。感染状況から、難しかったように思う。コロナの影響もあり、積極的に地域の人材の活用を図ることはできなかった。 【改善策】 コロナの様子をみて、計画を立てていく。状況によっては、実施をしていくように働きかける。	A 13% B 63% C 0% D 0% 無回答 25%